

大平衆院議員
予算委で質問

核兵器禁止・廃絶へ役割果たせ！

禁止条約の交渉開始を求める国連決議に反対した政府を追及

日本共産党の大平喜信衆院議員（比例・中国）は2月8日の衆院予算委員会で、昨年末に国連総会で採択された「核兵器禁止条約の締結交渉の開始を求める決議」案に反対票を投じた日本政府の姿勢を厳しく批判。唯一の戦争被爆国として核兵器禁止・廃絶へ役割を果たすよう求めるとともに、核戦略を見直すトランプ米大統領に対する政府の姿勢をただしました。

世界の流れに逆行

米国の圧力に屈した安倍政権

大平議員はまず、政府がこれまで核兵器禁止条約の締結を求める決議（フォロワーアップ決議）案には「棄権」してきたにもかかわらず、今回の決議案に反対した理由を問いました。

岸田文雄外相は「核兵器の非人道性に対する認識と厳しい安全保障に対する認識の上に立ち、核兵器国と非核兵器国の協力のもと、現実的、

実践的な取り組みをおこなうというのが、我が国の立場だ」「核兵器国と非核兵器国との対立が激化するという危機感にもとづいて、今回の決議には反対した」「日本政府の対応は一

貫している」など開き直り、

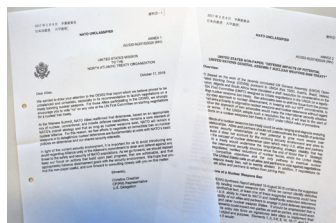
米国の「核の傘」

に依存し、核兵器禁止・廃絶を

永遠のかなたに

追いやる姿勢に

終始しました。



米国が同盟国に送った書簡

大平議員は、広島弁護士会の抗議声明を紹介して、「立場は一貫している」としてはいるが、世論はそう見ていない」と批判。今回の決議を巡って、米国が同盟国に反対するよう求める書簡を送ったことから「日本にも同様の圧力があり、それに屈したのではないか」と追及しました。



被爆者の声をぶつける大平議員

岸田外相は「具体的なやり取りについては、お答えを控える」と答弁し、米国からの圧力を否定しませんでした。

核戦力強化のトランプ。プ米大統領に被爆者の思い届けよ！

大平議員は、トランプ政府の見解を質問。岸田プ米大統領が、核戦略外相は「注視していきたくて見直す大統領令にサインしたことに触れ、

大平議員は「被爆者の願いに応えて米国にはつきりものをいい、

核兵器のない世界の実現への先頭に立つべきだ」と求めました。

